

## ネットワーク時代に求められる腕時計の進化形とは? その追求から生まれた次世代の腕時計

カシオが開発してきた数々の時計は、“時を計る”という本来の機能にとどまらず、常に何らかの新しい価値がプラスされてきました。では、ネットワークが日常生活に深く関わるようになった現在、カシオはリストウォッチをどのように進化させていくのでしょうか?その方向性を示唆する新商品、G-SHOCK『GB-6900』をひも解きます。

### ▶▶ 時計を見つめなおし 新しく進化させ続ける

カシオのリストウォッチの開発史は、常に時計を見つめなおし、時を計るという本来の機能にとどまることなく、進化させてきた歴史といっても過言ではありません。代表的なものに、常識を超えた耐衝撃性という付加価値で腕時計の中での確固たるブランドを確立したG-SHOCKや、高度計や方位計などのさまざまなセンサーを搭載したアウトドアウォッチのPRO TREKがあります。今回の開発でカシオはまた新しい腕時計の進化を目指しました。テーマは、「ネットワークとつながる腕時計」です。

### ▶▶ 使い勝手を崩さないための 最大の壁は電池寿命

では、ネットワークとつながる時計を開発するための技術的な壁は何でしょうか?ネットワーク端末の代表である携帯電話やスマートフォン、タブレット型情報端末を思い浮かべると、そこに答えがあります。すなわち、数

日で充電しなければならない電池寿命です。時計の電池寿命は2年、3年といった年単位のものになります。時計であるためには、ここは犠牲にできません。そこで着目したのが、省電力で通信を可能にする近距離無線通信技術・Bluetooth®です。カシオは、2007年からこのBluetooth®の通信ルール策定に参画して新製品の開発を進めてきました。そして、2011年1月にBluetooth® low energy technologyに対応した時計の開発を発表し、翌2012年3月に、約2年間の電池寿命を実現したスマートフォンと通信できる新しい時計を発売しました。

Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

### ▶▶ 常に身につけているという 腕時計の特徴を活かした機能

新製品は、世界で累計5,000万個以上売れているG-SHOCKブランドの人気モデルのデザインを変えず、そこに新しい機能を搭載しています。これは、いかに新しい機能を持つとはいえ、時計としての本来の価値を損なってはいけなかったと考えたからです。

G-SHOCK『GB-6900』にはスマートフォンの時刻情報を受信して腕時計の時刻を自動修正するなどユニークな新機能が搭載されていますが、日常でもっとも便利に感じるのは、スマートフォンをバッグに入れておいても、電話やメールの着信を時計が知らせてくれる機能でしょう。技術的にはメールの内容をスマートフォンから時計に送ることも可能ですが、時計の狭い液晶でメールを読みたい人はいないはずです。つまり、『GB-6900』の付加価値は、常に身につけていると

いう腕時計の特徴を活かして、腕時計とスマートフォンが補完して利便性を高めることにあります。「ネットワークとつながる腕時計」の第一弾は、スマートフォンとの連動で利便性を高めることを実現しました。そして、その先には、スマートフォン側の機能やアプリケーションと時計が連動し、さまざまな生活に役立つ情報を腕時計で確認できる可能性が広がっています。カシオはこの分野に今後も注力し、ネットワークとつながるリスト端末を開発し、提供していきます。

## スマートフォンとリンクする次世代型G-SHOCK



### スマートフォンによる時刻修正

タイムゾーンの異なる国や地域に移動しても、スマートフォンの時刻情報を受信し、自動的に時刻を修正します。<sup>\*1</sup>



### 携帯探索機能

腕時計のボタン操作でスマートフォンのアラームやバイブレーションを起動させ、所在不明のスマートフォンを探すのに役立ちます。



### 自動再接続

内蔵の傾斜スイッチが腕時計の動きを感知すると、スマートフォンと自動接続。面倒な接続設定の手間を軽減します。



### 着信のお知らせ

電話着信やメール受信<sup>\*2</sup>を電子音やバイブレーションで報知し、相手の名前を液晶に表示。腕時計をタップすると音や振動が停止します。



### リンク切れ通知

スマートフォンとの無線接続が切れるとバイブレーションで通知。スマートフォンが手元から離れても通知します。

<sup>\*1</sup> 時計は、携帯電話の時刻が修正されたタイミングで自動的に修正します。携帯電話の通信事業者によっては、自動的に現地の正しい時刻に修正されないことがあります。

<sup>\*2</sup> SMS/Gmail/Eメール/spモードメールなどに対応(マーケットからダウンロードされるメーカーには対応していません)。